

報 告

第34回医学情報サービス研究大会 (MIS34) 参加記

井上智奈美

開催日：2017年8月26～27日

会 場：関西医科大学

久しぶりに関西での開催となりました。子どもができてから、なかなか遠出できず関西以外のMISには参加できずにいたのですが、今回は自宅からバスで20分という至近距離だったため、気軽に参加できました。

会場の関西医科大学は枚方市にある美しい建物です。大学として十分な設備があるだけでなく、各所に芸術作品が展示されており、荘厳な雰囲気をかもし出していました。中庭の真ん中になぜか鹿の像があったのが印象的でした。

大会では、興味深いプログラムがたくさんありました。中でも印象に残ったのは、参加者企画の「メディアドクター」でした。「著名人のがん報道をどう報じるか—情報の受け手と伝え手の視点を考える」というもので、新聞記事を読んで、どう受け取ったかの感想を出し合い話し合うというワークショップです。人によってさまざまな捉え方をすることが実感できました。文章の使い方を考えること、必要な知識情報を添えないと誤解されることがあるということ、受け手の立場によって同じ文章からでも受け取り方が変わるということなど、図書館だけでなく実際の生活においても役立つ内容だと感じました。

ポスター発表では、「学会ポスター発表支援」の資料がとてもわかりやすかったので、発表者にこの資料をデータでいただけないかをお願い

したところ、快くお引き受けくださいました。後日いただいた資料をもとに、当院用のマニュアルを作成しようと奮闘しているところです。

今大会の事務局長は、病図協の事務局長でもある増田氏が務められました。病図協会員もいろいろな役割を担当し、みなさん大活躍でした。グッズコーナーでは、大会グッズのカバンやてぬぐいにオリジナルハンコで模様をつけることができ、休憩ブースではお菓子やお茶がふるまわれ、休憩時間も大いに楽しむことができました。

また関西近辺で開催されることがあれば、参加したいと思います。

